

■日時 令和元年8月14日(水)
令和元年8月15日(木)
■球場 稲城中央公園野球場
明治神宮球場

■天候 晴れ(14日)
晴れ(15日)
第3試合 2回戦

クラーク記念国際高校・千葉・通 対 飛鳥未来高校・札幌・通
■試合時間 2時間39分
■備考 14日 38分
15日 2時間1分

■審判 球審:渡辺 塁審:菊池 須田 高橋 (15日 早川・竹本・小松) 8回コールドゲーム

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8						計	安	失
飛鳥未来札幌	北海道	2	3	0	0	1	0	0	0						6	3	9
クラーク千葉	千葉	0	0	2	1	3	0	5	2x						13	8	3

8月14日 日没により2回表打ち切り特別継続試合とする 8月15日 明治神宮球場にて2回裏より再開

飛鳥未来札幌

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8				
1	捕	佐々木 一輝	4	1	0	0	右飛	四球	三邪		遊ゴ		投飛					
2	中	丸山 工透	3	2	0	0	四球	四球		三振		三ゴ		三振				
3	三遊	加賀美 諒	4	2	2	2	右3	右3		四球		遊ゴ		三振				
4	投	石井直也	5	0	0	0	投飛	遊ゴ		二飛		三振		中飛				
5	遊	合田 竜磨	1	0	0	0	四球	四球			四球		遊失					
6	左	児島 憧哉	1	1	1	1	遊安	四球			四球		四球					
7	一	馬場 翔太	3	0	0	0	四球	三振			投ゴ		中飛					
8	二	長井 将俊	4	0	0	0	三振		三振		三振		三振					
9	右	中野 冬梧	3	0	0	0		二ゴ	三振		捕失		四球					
合計			28	6	3	3	残塁:10 併殺:0											
備考																		

■バッテリー

投手
石井直也
合田 竜磨
石井直也

捕手
佐々木 一輝

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
石井直也	5	28	6	6	2	2
合田 竜磨	1 1/3	11	2	0	4	3
石井直也	1 1/3	10	0	1	4	2

クラーク千葉

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8				
1	遊	宮本 大新	4	2	1	1	三ゴ		三振	左安	中飛		死球	四球				
2	中	銀屋 拓真	5	0	0	0	一邪		捕邪	三ゴ		右飛	投飛	四球				
3	右	橋本 裕輝	4	2	2	2	四球		左2		中3	遊失	死球	三ゴ				
4	一	原田 大地	4	1	0	2	三振		三振		二失	四球	一ゴ	四球				
5	三	米倉 希海	5	1	1	2		三振		捕飛	左本	左飛	三失					
6	捕	豊田 壱成	5	0	0	0	三ゴ		中飛	遊ゴ	二ゴ	二飛						
7	左	工藤 優輝	4	2	1	0		三振		一失	二失		左安					
7		加登 仁士	1	0	0	0								三振				
8	二	渡辺 統	3	3	2	0			遊失	中安	左安		四球	四球				
9	投	中西 祐太	4	2	1	0			三失	四球	三振		右安	投失				
合計			39	13	8	7	残塁:13 併殺:0											
備考																		

■バッテリー

投手
中西 祐太
銀屋 拓真

捕手
豊田 壱成

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
中西 祐太	2	16	3	2	7	5
銀屋 拓真	6	24	0	8	5	0

■戦評

2回戦稲城中央公園野球場の第3試合は初戦で両チーム合わせて30得点の乱打戦を制したクラーク記念国際高校・千葉と2年連続3回目出場の北海道代表・飛鳥未来高校・札幌・通信制の対戦となった。先攻の飛鳥未来・札幌は初回四球の走者が二盗と敵失で三進後3番加賀美の右翼線適時三塁打で先良く1点先制。6番児島の内野安打で加賀美も生還しこの回2点を奪う。続く2回にも四つの四球と長打で3点を追加する。ここで照明設備のない稲城中央公園野球場では試合続行が不可能となり翌朝神宮球場に会場を移して2回裏から再開することになる。3回裏クラーク記念国際・千葉は連続敵失と3番橋本の適時二塁打で2点を返す。続く4回には敵失の走者を1番宮本の左前適時打で返し3-5と追いつく。5回表飛鳥未来・札幌は四球と敵失で1点を奪い6-3とリードを広げる。5回裏クラーク記念国際・千葉は3番橋本が中堅超え三塁打で出塁しワイルドピッチで生還。敵失の走者を一塁におき5番米倉が左翼スタンドに叩き込み6-6の同点に追いつく。7回表二死満塁のピンチを切り抜けたクラーク記念国際・千葉はその裏飛鳥未来・札幌2番手合田を捉え2本の安打と四死球で2点を奪いなおも再び登板した石井井から内野ゴロと敵失で3点を追加。8回裏には四球と敵失で1点追加しなおも二死満塁から4番原田が押し出し四球を選びこの回2点目が入りゲームセット。8回コールド13-6でクラーク記念国際・千葉が2日間に渡る激闘を制し3回戦に駒を進めた。飛鳥未来・札幌は神宮球場に移動してから登板したクラーク記念国際・千葉2番手銀屋から際どい球を見極め走者を出すものの決め手を欠き反撃に至らなかった。